

令和六年度 一学期 始業式 式辞

1年生は2年生に、2年生は3年生に、それぞれ1学年進級しました。進級おめでとうございます。

三学期は穴水中学校をお借りし、対面とリモートに別れた授業で少し寂しい感じでしたが、今日はこうして2、3年生のほぼ全員が、由比ヶ丘の本校校舎に集まることが出来、大変うれしく思います。

能登半島地震から3ヶ月以が経過し、大きな被害を受けた登校坂が修復され、皆さんが安全に歩いて登校出来るようになりました。校舎内外も復興に向けて着々と進んでいます。

さて、世の中には「変えられるもの」と「変えられないもの」があります。「変えられるもの」は「自分」と「将来」で、「変えられないもの」は「他人」と「過去」です。

「自分」のことはいつからでも、どれだけでも変えられます。意識と習慣を変えれば人は変われます。そして「将来」はこれから「自分」で築いていくものですから、いくらでも変えられます。変わりたい「自分」をイメージし、その「自分」になるために今何をすべきかを考えてください。明確な「自分」の目標が定まれば、あとは実行するのみです。

「他人」とは「自分」以外の人のことで、「他人」のことは変えられません。稀に指導者や周りの人たちの影響を受け、変わる人はいますが、その場合も、本人が変わろうとしなければ変わりません。したがって、「人を変えることができるのはその人（自分）だけ」なのです。

『馬を水辺につれていけても水を飲ませることはできない』のです。（馬が水を飲みたいと思わなければ。）

「将来」と違い「過去」は変えられません。能登半島地震で被害にあったところは、完全に災害前の状態に戻ることは難しいでしょう。生活の環境が変わってしまった生徒もいます。今後も我々にとって不便な状況は続くと思います。しかし、「過去」は変えられません。

今年度本校は「復興元年」を合言葉に「再生」に向け歩み始めます。変えることのできる「将来」に向け、一生懸命、後悔なく生きていきましょう。

そして、皆さんと先生方が一丸となり「チーム穴高」で一步一步前進していきましょう。

令和6年4月8日（月）

校長 島崎 康一